

議題7 理事会提案議題2. 2024年度～2027年度 重点事業 目標

I. 実務に貢献する事業

1. 会員管理システムの構築（企画・広報委員会）
 - ・ 会員への情報周知のためのシステム構築を行うとともに情報交換のための機能も合わせて検討する。
2. 会員の役に立つ出版物刊行の検討（出版委員会）
 - ・ 会員の役に立つ新規タイトルの出版を検討するとともに、冊子と電子書籍による出版や販売方法について検討する。
3. これからのコンソーシアムサービスの検討（学術情報コンソーシアム委員会）
 - ・ 学術論文等の即時 OA 化や転換契約の登場など提案の多様化を踏まえ、今後のコンソーシアム契約の方向を検討する。
4. 国内医学書の電子化推進（総務会、医書電子化検討WG）
 - ・ 医学書出版社などと懇談の場を持ち、国内医学書の電子化推進を目的とした、電子コンテンツを取り巻く環境について意見交換を進める。

II. 医学図書館員資質向上に貢献する事業

1. 教育研修事業における内容の工夫（教育・研究委員会）
 - ・ 研修会や E-ラーニングコンテンツ作成において、これからの図書館実務に繋がる内容を検討する。
2. 認定資格の要件の見直しと活用促進（認定資格運営委員会）
 - ・ 認定資格制度について、アンケート調査等により、専門職能力開発に貢献している具体例の把握と中上級の応募者が減少している要因を分析して対応策を策定する。
3. 医学図書館の機能評価の検討（認定資格運営委員会）
 - ・ 医学図書館の機能評価のための指標の作成及び評価の結果の活用例をまとめるとともに、医学図書館の機能の向上に必要な専門職能力を示すことにより、認定資格制度の改善にも反映させる。

Ⅲ. 社会に貢献する事業

1. 教育研修コンテンツの活用の促進（教育・研究委員会）
 - ・ 研修会や作成した E-ラーニングコンテンツにおいて、非会員を含め広く活用される方法を検討する。
2. 全国患者図書室実態調査（医療・健康情報委員会）
 - ・ 国内患者図書室の設置状況を調査し、その結果を公開するとともに、医療・健康情報サービス標準化に関する基礎資料として今後の検討に活用する。
3. 文献検索担当者の育成（受託事業委員会）
 - ・ 診療ガイドラインの文献検索等、医療者や研究者と協働し、網羅的な文献検索ができる図書館員を育成する。

Ⅳ. 協会運営の健全化につながる事業

1. JMLA 著作物の著作権に関する環境整備（総務会、著作権問題検討 WG）
 - ・ JMLA 著作物の著作権に関する規程等の整備を行うとともに実務におけるワークフローを構築する。
2. JMLA の持続的発展のための課題への取り組み（理事会、中央事務局）
 - ・ 2020～2023 年度に結果を出せなかった「会員増」「事業評価」「将来計画」に取り組むとともに、委員会の委員負担軽減や委員充足、奨学金の有効活用等の課題に取り組む。
3. JMLA100 周年に向けた記念事業の企画・準備（理事会、中央事務局）
 - ・ JMLA が 2027 年に創立 100 周年を迎えるにあたり、記念事業の検討、企画、準備を進める。